

石井先生の

# 脳卒中片麻痺における 動作分析の極意

講座コード  
R-252

## 基本動作編

効率的な動作獲得につなげる“活きた”評価の行い方



日 時: 2026年6月8日(月) 19:00~21:00  
 会 場: インターネット生ライブ中継  
 講 師: 石井 慎一郎 先生(国際医療福祉大学大学院)  
 対 象: PT・OT・ST・看護師(左記以外も受講可)  
 受講料: 会員 5,400円(税込) 一般 6,400円(税込)

見逃し受講期間  
2週間あり  
永久保存版  
PDFスライド付

今、会員になると  
年会費 4,900円が無料  
実質 5,900円割引

目的のない  
動作分析の繰り返しに  
ギモンを感じて  
いませんか?

動作分析は重要と学生時代から言われているけれど、目的の無い動作分析の繰り返しにイヤ気がさしていませんか?そんな状況に、動作のプロ石井先生が喝! この講座では、特に臨床で悩む片麻痺患者の「寝返り」「起き上がり」「起立・着座」をベースに、ADLアップに直結する分析方法を徹底解説。動画・実演で動作メカニズムを理解した上で、動作障害の要因を探り、アプローチにつなげる“活きた動作分析”を学びます。



## 片麻痺患者の基本動作分析 ～寝返り・起き上がり・起立動作～



動作分析の本質は「機能」を評価すること。各メカニズムを一つひとつ評価していき、どのメカニズムが上手く機能していないのかを確認していく必要があります。その近道は、少し介入をして、どこの動きを助ければ動作が可能となるのかを繰り返しアセスメントすること。この逆算で考えることで、基本動作のみかたが変わります。

- ① 片麻痺患者の寝返り・起き上がり動作の問題
- ② 臨床動作分析の基本的思考プロセス  
～仮説の立案と検証～
- ③ 力学的制御とアライメント制御  
～重心・支持基底面・床反力の分析～
- ④ 体軸内回旋とScapula set Reachingでみる寝返り・起き上がりの動作分析
- ⑤ 運動学シナジーと筋協調制御を考慮した立ち上がり動作分析とハンドリング
- ⑥ 筋力で考えてはダメ! 重心と床反力のバイオメカニクスでみる動作分析法
- ⑦ 犯人は前鋸筋? 腰椎の可動性? 消去法で探る臨床推論アプローチの実際 ほか

全2講座シリーズ受講もできます



6月22日(月)  
歩行分析 編

クーポン  
1,000円分  
プレゼント!

会員のみ  
30名  
限定

各講座の詳細は  
HPをご覧ください。



※これらの各講座は離床アドバイザー取得コースの実技0.5単位・学会認定資格更新5ポイントを取得することができます。

応募方法

ホームページより  
オンライン登録

日本離床学会

検索

お問い合わせ・お申込先

臨床を元気に!

日本離床学会

TEL 03-3556-5585 FAX 03-6272-9683 Eメール jsea@rishou.org

